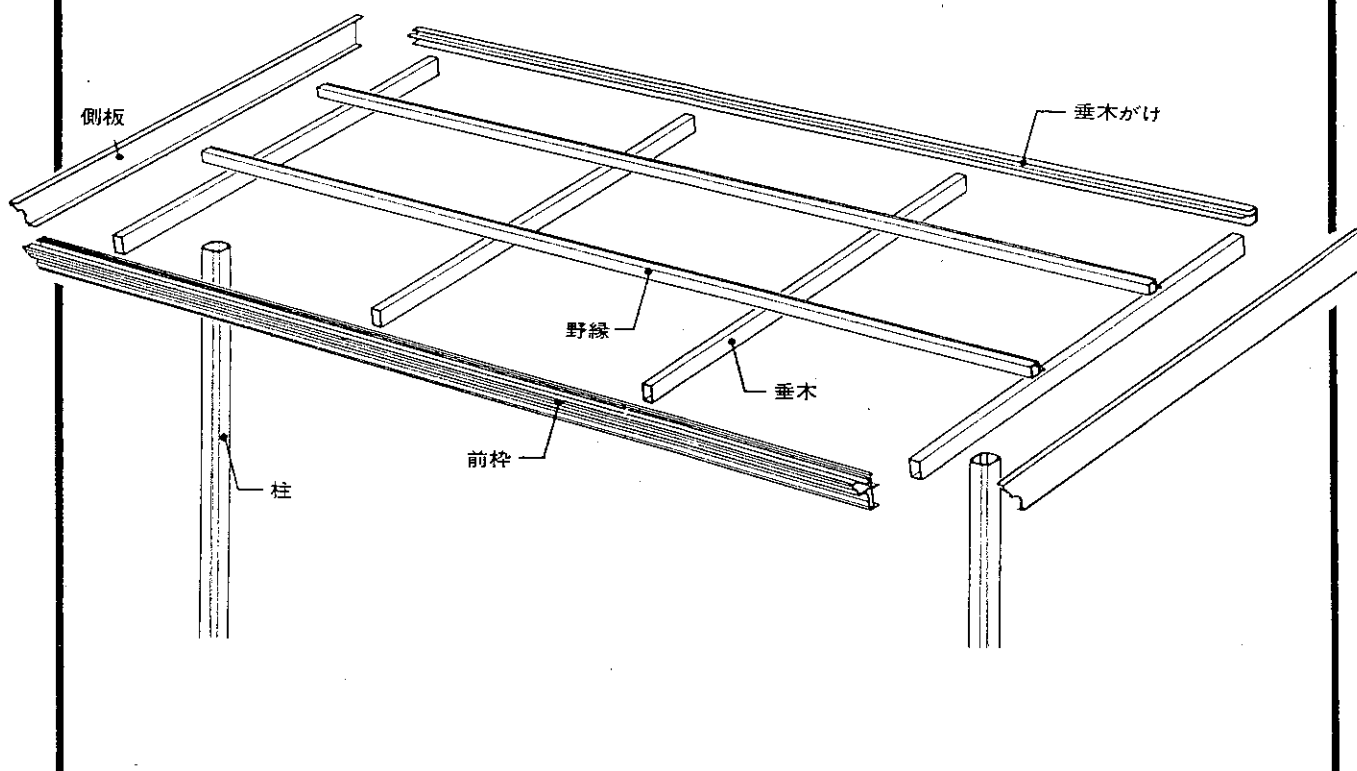


アルミテラス 取付け説明書

■構成図

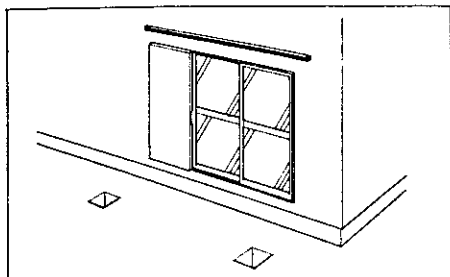


お願い

- 組立てネジ・ボルトは、締め忘れぬよう、また使用中緩まぬよう、確実に締め付けてください。
 - タッピンネジの下穴は、太いドリルを使用するとネジの保持力が下がりますのでご注意ください。
 - アルミ型材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触する時は、絶縁処理をしてください。
 - 取付け時は、野縁と垂木以外のところには乗らないでください。
 - 波板は JIS 製品をご使用ください。
 - プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから、絶対に行わないでください。
 - 現場で出幅や軒幅の調整をする場合、必ず垂木又は、側枠の幅詰めで対応してください。
- ※ 柱だけの出幅調整は絶対に行わないでください。
- この説明書は、施工完了後施主様に、お渡し願います。

取付け手順 (標準タイプの場合)

1. 柱基礎と垂木がけの取付け



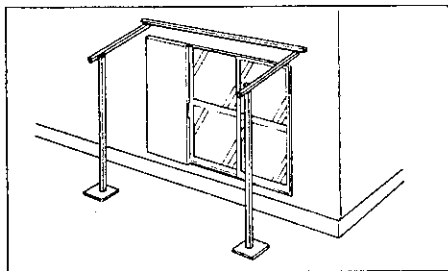
■柱基礎穴

- 柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘ります。

■垂木がけの取付け

- 垂木がけに躯体取付け穴はありません。柱及び間柱位置に合わせφ6.5の穴をあけてください。

2. 垂木・柱の取付け

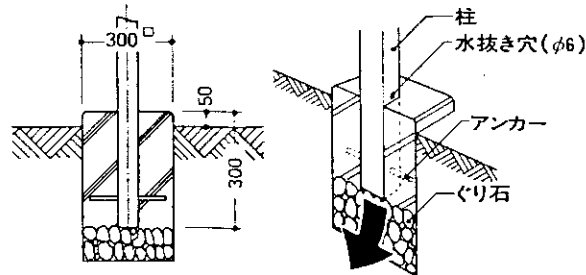


- 柱の下部にアンカーを差し込みます。
- 柱と垂木を組み立ててから建て起こし、垂木がけに取り付けます。

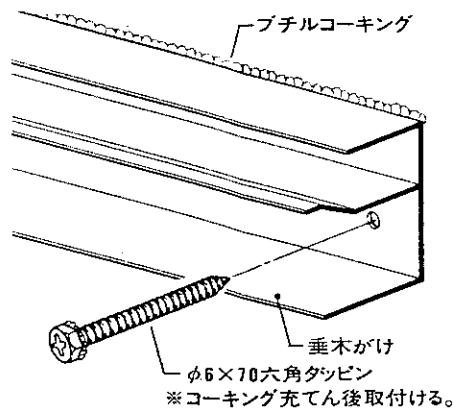
3. 前枠・野縁の取付け

- 雨どい取付け用の穴は半パンチ加工になっています。雨どい取付け側を打ち抜いておきます。
- 前枠は垂木にセットしてボルト・ナットで固定します。
- 野縁は垂木の取付け穴位置に従ってタッピンネジφ5×20で固定します。
- 屋根部の対角寸法を測定してください。

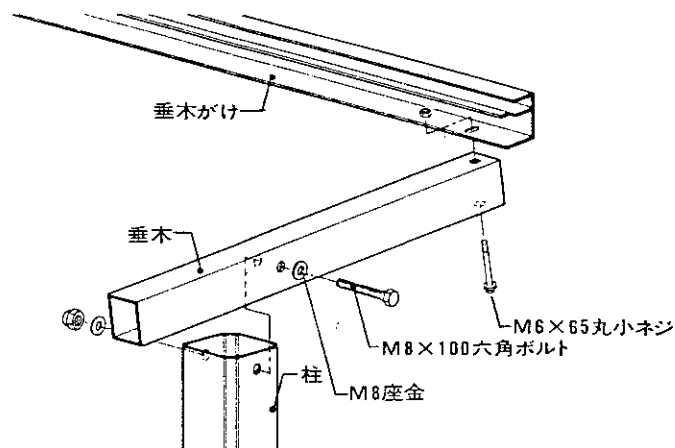
■柱基礎



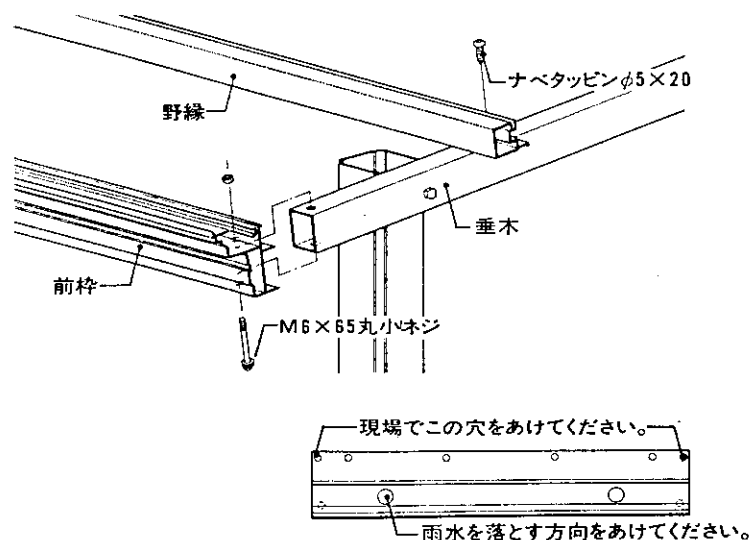
■垂木がけの取付け



■垂木・柱の取付け



■前枠・野縁の取付け

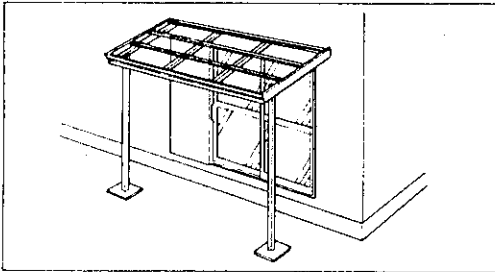


■基礎について

- ※ 地下埋設物(給排水管など)に影響を及ぼさないようご注意ください。
- ※ コンクリート(またはモルタル)には急結剤は絶対に使用しないでください。使用しますとアルミが腐食するおそれがあります。

- ※ 垂木がけは必ず躯体の柱、間柱など構造材に取り付けてください。躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は施主様とご打ち合わせの上、必要に応じて補修をした後、取り付けてください。

4. 側枠の取付け



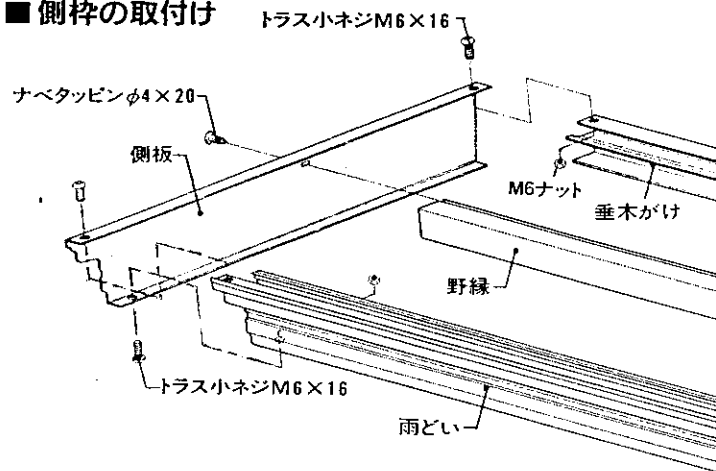
- 側枠を、前枠・野縁及び垂木がけにそれぞれ取り付けます。

5. チェーン・波板の取付け

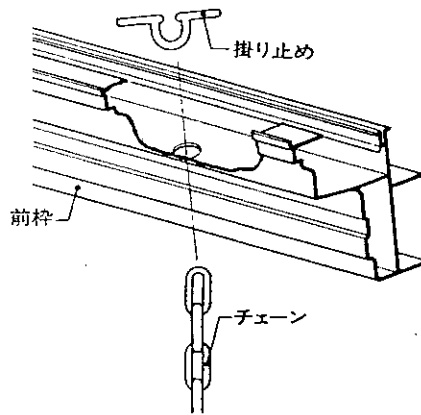
右図のように掛り止めをセットしてチェーンを取り付けます。

- 波板をセットし、波板止メフックで取り付けます。
- ※ 波板はラベルが張ってある方が上面です。必ずラベルを上面にして施工してください。
- ※ テラスの上に乗って波板の施工をする場合は、垂木または板を敷いた上で行ってください。

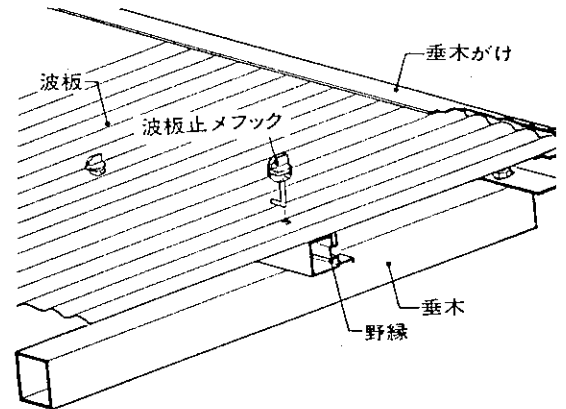
■ 側枠の取付け



■ チェーンの取付け



■ 波板の取付け



※ 野縁に沿って波板の重なり部及び、中央の4カ所に穴をあけて、波板止メフックで止めてください。

連結タイプの場合

連結タイプの場合

連結部以外の組立てについては標準タイプと同じです。

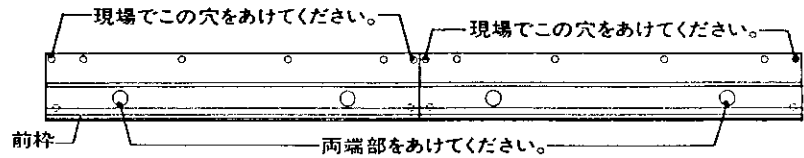
■前枠の穴あけ

- 前枠取付け用の穴は半パンチ加工してあります。右図の位置の穴をあらかじめ打抜いておきます。

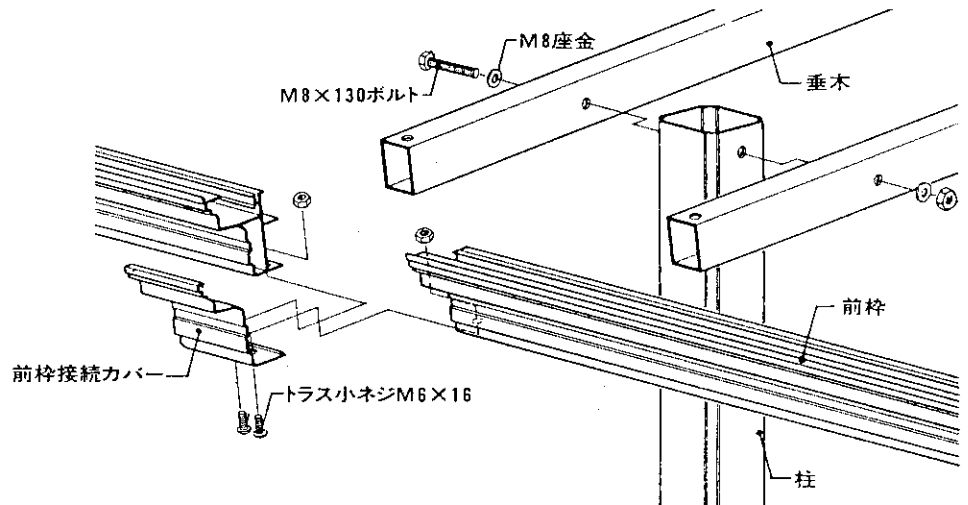
■連結部の組立て

- 連結用柱の左右より垂木をセットして、ボルト・ナットで取り付けます。
- 前枠の両端部を前枠接続カバーで接続後、トラス小ネジM6×16で固定します。
- その他の組立てについては標準タイプと同じです。

■前枠の穴あけ



■連結部の組立て



■建物の養生は十分に!!

外壁部分へ取り付けるため特に雨仕舞に注意し、コーキングなどの養生は完全に行ってください。ドリルなどで取付け穴をあけ直した時など、その穴を完全に補修しておいてください。

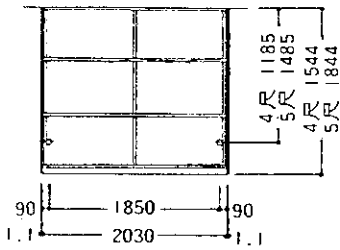
■テラスの養生・点検

施工中塗装面を傷つけたときはメーカー指定の補修塗料または、市販のアクリル系塗料で補修してください。

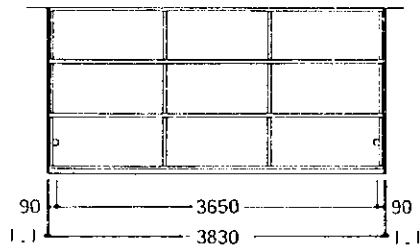
参考納まり図

■ 屋根伏図

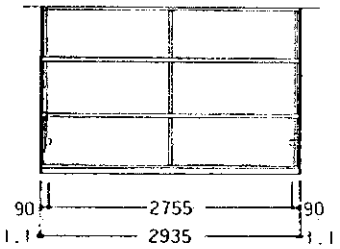
■ 1.0間



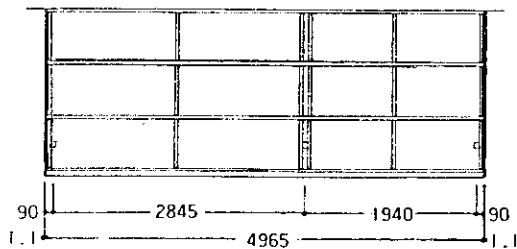
■ 2.0間



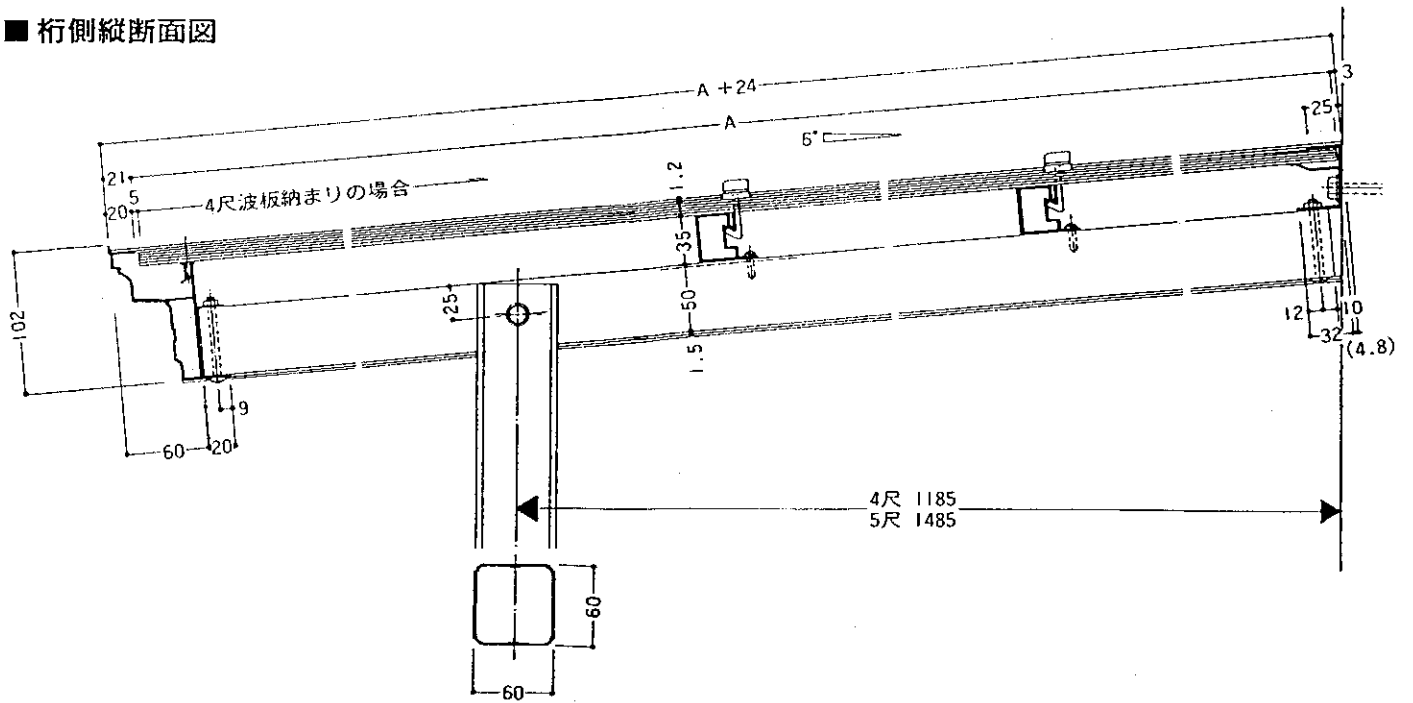
■ 1.5間



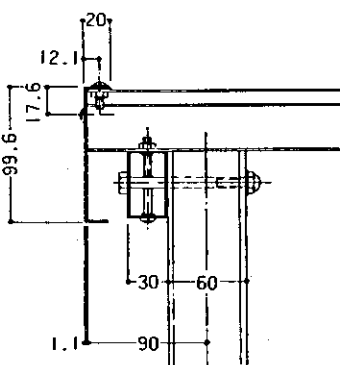
■ 2.5間(連結)



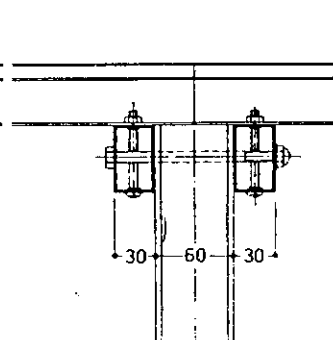
■ 桁側縦断面図



■ 妻側縦断面図



■ 連結タイプ中央部納まり図



【工務店さまへのお願い】

通常の取扱いによって生じた不具合については、原則として当社の責任において交換・補修しますが、下記の場合は責任を負いかねますので十分ご注意ください。

- 当社が表示した取扱い上の注意事項及び、維持管理の注意事項を守っていない場合。
- 当社が表示した以上の性能を必要とする用途や個所(地域)に製品を設置した場合。
- 工事上の欠陥があった場合。
- 製品に他の構成材を加えたり、又は規格外に加工して製品の形態を変えている場合。
- 風・雪による落下や飛来による損傷。
- 製品の表面に、特に塩害や大気中の砂じんやばい煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどの反応物質が付着しておこる腐食。
- 不可抗力(天災、地変、異常気象(風、雪、水害など)地盤沈下、火災、騒乱など)による場合。
- 製品の構成材であっても、当社の供給責任範囲外のもの(波板など)
- 当社以外のバルコニーと組み合わせた場合。

※ 本製品はテラスの JIS A 6602 の規格に合わせて設計してありますが、JIS 規格外となります。
ただし、強度・耐久性などの品質については JIS 製品と変わりありません。

【施主さまへのお願い】

■ネジ・ボルト類の増締め

■雪おろしについて

■清掃について

■建物の立地条件と清掃のひん度例

立地条件	清掃回数
臨海工業地帯	6～12回/年
海岸・工業地帯	4回/年
商業地帯	3～4回/年
田園地帯	3回/年

■波板の交換について

トヨーサッシ製品をご採用いただき誠にありがとうございます。

製品をいつまでも美しく、そして快適にご使用いただくために、ぜひお読みください。そして日々のお手入れにお役立てくださるようお願い致します。

●6ヵ月程度のご使用後、ネジ・ボルト類は増し締めをしてください。

●積雪時には、危険ですので早めに雪をおろしてください。

雪おろしの目安……………一般地域用 I 形(積雪20～30cm)

●雪おろしなどで屋根に上がる場合、野縁と垂木以外には乗らないでください。

●腐食の防止には、定期清掃が一番です。

簡単な水洗いだけでサビは防げます。定期的に年1～2回程度水洗い、空ぶきをするだけでぐんと長持ちします。汚れの特にひどい、工業地帯や海岸のすぐそばなどでは清掃回数を増してください。

●アルミニウム表面の保護膜に傷をつけると、腐食を早めます。清掃には布やスポンジなどの柔らかいものを使用し、やむを得ない場合のみスコッチブライトをご使用ください。金属性ブラシや金ペラは絶対に使用しないでください。

●小石・砂などがアルミの表面についたまま布でこすると、表面を傷つけます。あらかじめ取り除いてください。

●洗剤は中性のものだけを使用してください。酸性やアルカリ性のものはアルミ表面の保護膜を侵し、サビの原因となります。

■汚れの程度と清掃方法

軽い場合……………水でぬらしたぞうきんでふきます。

ひどい場合……………中性洗剤をうすめた液で汚れを落した後、洗剤が残らぬよう水洗いし、空ぶきをします。

著しく腐食し、サビが出た場合……………中性洗剤をつけた、スコッチブライトまたは目の細かい紙ヤスリで、部分的に軽くこすり、汚れやサビを除いた後水洗いし、表面に適した塗料(家具用ワックス等)で補修してください。

注1)スコッチブライト(住友スリーエム)の粒度はウルトラファイン。

注2)こする際は一定方向(アルミ押し筋の筋目方向)にこすります。

注3)洗剤(薬品類)は、説明書をよく読んでから使用してください。

●波板の耐要年数は、硬質塩化ビニル製とガラス繊維強化ポリエステル製では多少異なりますが、波板の端部や、固定穴の周辺に亀裂が生ずる等老化してきた場合は、早めに波板の交換をお願い致します。

波板のお取り換え時に使用する波板止めフック(波板固定用)やその他の部品が必要な場合、または製品についてのお問い合わせは、最寄りのトヨーサッシ取扱い店、またはトヨーサッシ営業店にお問い合わせください。

MAB-419 7-60927. ①. ②